

お元気ですか



旭川市議会議員 笠木かおる通信

旭川市豊岡5条9丁目1番2号
TEL.FAX.0166-32-4863
kasagi@potato.hokkai.net

春風鰻福

こんにちは。笠木かおるです。
新しい年をお元気で過ごしのことと心からお慶び申し上げます。
「かおる通信」26号をお届けします。
先行き不透明な時代ですが新年が、皆さまにとって輝ける1年になりますよう心からご祈念申し上げます。

旭川市議会議員 笠木かおる



建設・公営企業常任委員長としてがんばっています

市議会の建設・公営企業常任委員長に就任して早8ヶ月が過ぎました。審議する所管は、都市建築部、土木部、水道局、市立病院です。
ハード面では無駄をはぶき限られた財源をいかに大切に使うかが課題です。ソフト面では将来を見据え誤りのない街づくり計画を作り上げていかなければなりません。どうぞ、皆様のご指導を引き続きお願い致します。

11月17日から5日間、駆け足でしたが常任委員長の立場で行政視察を行いました。

大津市では琵琶湖の景観を守るための住民運動を学び、倉敷市と奈良市では、大規模公園の造成や駅周辺整備事業の状況を見聞しました。各市とも造成整備の結果、逆に歴史や風格、風土を損なう状況がでてきていて、お金を掛ければ良いというものではないということです。本市としても他都市の失敗から多いに学ぶ必要があります。



視察団長として他都市を訪問しました(倉敷市)

今春、エール保育所が開設します

「保育所に入りたくても入れない」。いま、保育所の待機児童は500人を超えています。厳しい経済状況で共働きをしなければ家計がなりたないことが大きな原因です。

今春、東旭川町下兵村369番地(南端通南2丁目)に認可保育所エール(社会福祉法人はばたき荒川繁雄理事長)が開設されます。私も認可されるまでお手伝いをさせていただいただけに非常に嬉しく思います。



保育所起工式で荒川理事長ら関係者と

昨年の起工式では関係者ともに苦労話に花を咲かせました。



特別養護老人ホーム・身体障害者療養施設「共生園」に入所されているみなと12月18日、餅つきを楽しみました。

入所者の笑顔に出会うたびに、心とむものがあります。

パークゴルフの振興に努力した1年でした

ご縁があって旭川市パークゴルフ協会(齊藤政秋会長)の顧問をおおせつかりました。

昨年は、パークゴルフの振興に向けて協会役員の皆様とともに、72ホール造成中の嵐山パークゴルフ場に数度足を運び、旭川市に対する要請などを行いました。



旭川市パークゴルフ協会役員と市理事者の懇談会

また、市議会一般質問でもパークゴルフの振興について取り上げさせていただき、芝生の管理やゴルフ場の運営方針についてただし、前向きな答弁を引き出しました。

これからもパークゴルフ振興をライフワークの一つとして頑張ります。

昨年9月27日にぴっぷパークゴルフ場で開催いただいた第3回笠木かおる杯パークゴルフ大会には265名の市民にご参加いただきました。厚くお礼申し上げます。

愛生会病院が移転新築オープン

昨年11月、東旭川町共栄223番地に愛生会病院が新築移転しました。同病院は福祉施設の共生園と協力している病院で、病院の代表は古くからお付き合いいただいている北海道2区衆議院議員の三井わきおさんです。

10月26日の開設祝賀会には衆院選最中、札幌から三井さんも駆けつけました。



三井ゆきおさんと開設祝賀会で

特区を利用した街づくり

昨年、平和通買物公園の基本計画を担当された現京都精華大学教授の上田篤さんにお会いする機会がありました。

昭和47年に全国初の歩行者天国としてオープンした買物公園。当時市長の五十嵐広三さんは「市民による壮大な実験だった」といっています。

第4回定例会市議会で私は、いま全国で動き出した構造改革特区について一般質問しました。このなかで菅原市長から「道路の位置付けとなっている買物公園の規制を取り除くために特区申請なども検討したい」との答弁をひきだしました。

叔父の山田孝夫さんが政府の構造改革特区評価委員のお仕事しており、私も特区についてしっかり取り組みたいと思います。



左・上田篤さん、右・五十嵐広三さんと

私の1回目の選挙で選対委員長をつとめて頂いた竹内万寿雄さんが12月24日お亡くなりになりました。

本当にお世話になりました。

心からご冥福をお祈り申し上げます。



第4回定例市議会終わる

第4回定例市議会は12月1日に開会され11日までの11日間の会期で開かれました。

今定例会では約8億1千円の補正予算が可決されました。主な補正は市職員給与の削減と生活保護費の約13億円や就学助成費等でした。

生活保護者はとうとう1万人にを超えました。また、就学助成については小中学の児童生徒のうち5人に1人の割合で助成を受けて就学しているという実態です。経済状況等が背景にあり、なんとしてもこうした社会を変えていかなければなりません。

以下、私がとりあげた一般質問要旨を報告します。



16年度の政策予算をどう考えるか

(笠木) 市長公約及び後期実施計画は16年度に達成できるか。

(答弁) 経常比率や公債比率が増加し、予算の自由度が狭まっているが市長の明確な意思で予算編成をすすめたい。

(笠木) 予算の最重点課題はなにか。

(答弁) 地域経済の活性化に資する政策及び事業の展開だ。

(笠木) 三位一体改革により1兆円の補助金削減が行われた場合、予算編成方針がなりたつのか。

(答弁) 厳しいものがあり全国市長会や中核市連絡会など、様々な機会を通して国に対し要望していく。

【解説】



旭川市16年度予算の本格的な編成が始まります。

すでに一般財源ベースで約11億円の不足が予想されており、三位一体改革が進めば更に厳しい予算編成となる心配があります。

厳しいですが、生活関連予算や福祉予算を確保しながら景気回復させるための政策予算を組んでいかなければなりません。それも後世にツケを残さずにです。

「無駄をなくし最小の費用で最大の効果をもたらす」予算編成に私もがんばります。

積極的な特区提案をすべき

(笠木) 農村や中心市街地の活性化に向けて「構造改革特区」の提案を積極的に行うべきでないか。

(答弁) 街づくりの有効な手法と考えており、買物公園を道路から広場に変えることなど、提案に向けての検討を強めたい。

【解説】

特区が本格的に動き出し全国で1300を超える提案がされています。

本市はバイオトイレに関する提案を1件行いましたが採択されていません。特区は街づくりの「実験」です。

私は、農村の過疎・高齢化に歯止めをかけることや買物公園再生のための積極的な特区制度の活用を主張しています。



万全な除排雪体制を

(笠木) 雪の堆積場確保は整っているか。

(答弁) 約9haの堆積場が不足している。

(笠木) 堆積場確保には周辺住民の理解が不可欠だ。直接、足を運び確保の努力を。

高齢者世帯の除雪支援

(笠木) 高齢者世帯の除雪支援システムがようやく導入される。今後の具体的計画は。

(答弁) 今冬、西地区と忠和地区で行い、来年度から随時エリアを拡大していきたい。

【解説】

高齢者世帯で玄関先から公道までの除雪を支援してほしいとの要望が強まっています。

私は議員になってはじめての一般質問で、この問題を取り上げましたが、様々な検討をへてようやく支援システムが導入されました。

援助してほしい高齢者と援助を行いたい市民が登録し市(社会福祉協議会に委託)が橋渡しとなって支援していきます。

利用料は30分で500円。

来年度から全市に導入するよう取り組んでいます。



パークゴルフ場の造成は順調か

(笠木) 嵐山パークゴルフ場の造成工事は順調か。

(答弁) 順調で17年度開設にむけ進めていく。

(笠木) 既存施設のコース管理が悪いとの声が多くある。パークゴルフ場全体の管理運営方針を見直すべきでないか。

(答弁) 評判の良いコース管理に努めていく。

【解説】



芝に欠かせないのは散水です。嵐山は水の出が悪く水源確保や散水設備の整備が心配されました。また、傾斜地であるため、その改良工事が重要でした。パークゴルフ協会の皆さんとともに愛好者に評価される整備に取り組んでいきます。

今後大切なことは、コース管理方針とパークゴルフ場の運営方針をしっかりとつこと。

第2師団のイラク派遣について

(笠木) 第2師団の隊員がイラクに派遣されようとしているが市長の見解は。

(答弁) 安全確保の面で大変心配であり、政府においては慎重のうえにも慎重を期して対応していただきたい。

最近の相談・要望の抜粋

- 就職相談
- 上下水道の整備について(東旭川地区)
- ポンウシベツ川の暗渠化について(豊岡東部中央・豊岡4-7町内会)
- 南町・新町市営住宅の建て替えについて(東旭川中央市民委員会)
- 旭川小学校の防犯灯設置について
- 農地転用について
- 生活保護受給手続きについて
- 信号機の設置について(共栄地区、東旭川本町地区ほか)
- 高齢者ワンコインバスの存続について(退職者組合)
- 難病対策について(難病連旭川支部)
- 雪堆積場予定地に関し反対の要望(東旭川北2)
- 福祉施設への入所相談
- 生活道路の整備(旭正10町内会、北7町内会ほか)
- 難波多川の悪臭対策について
- 上下水道の整備について(東旭川地区)
- 就学援助の手続きについて

